

# 2021年度東京都立高校一般入試

# 社会 入試分析

～入試ではこう出る!!～

## 【出題内容】

全20問 1問5点

分野別出題数 地理:8問・歴史:6問・公民:6問

コロナ禍の影響による調整で歴史が1問増え、公民が1問減った。中1～中2で学習する地理と中3で学習する公民に重点が置かれる一方、歴史は易しめの出題。また、**分野をまたいだ融合問題**や、**初見の資料を分析するために知識を活用する問題**もあって、暗記だけでは太刀打ちできない。**社会は中3になったとき、中1・中2の知識を覚えていることが最も大切だ。**

## 〈注意すべき出題形式〉

(1) 地図や資料の読み取り問題

ほぼすべての問題で地図や、図表・グラフなどの資料の読み取りがある。**どのような意図で資料が与えられているのかを考え、必要な部分を正確に読み取る分析力が必要だ。**

(2) 完全解答を求める問題

複数回答すべてを正解しなければならない**完全解答を求める問題**が**合計10問**。年々増えて難度が上がっている。

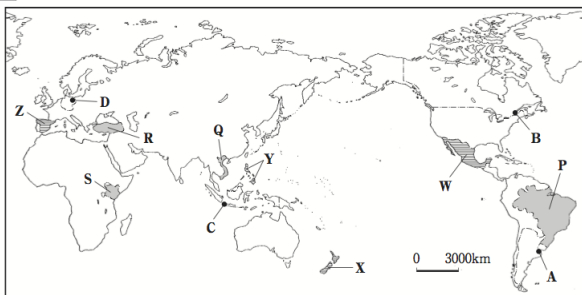
(3) 資料の読み取り記述

問われている内容を資料から**正確に選び出す**が定番。難問ではないが、あらゆる記述問題で練習する必要がある。

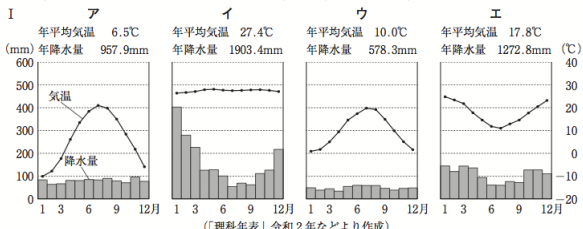
## 実際の問題にチャレンジ!

(中1内容: 世界地理)

2 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 次のIのア～エのグラフは、略地図中にA～Dで示したいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。IIの表のア～エは、略地図中にA～Dで示したいずれかの都市を含む国の、2017年における米、小麦、とうもろこし、ジャガイモの生産量を示したものである。略地図中のDの都市のグラフに当てはまるのは、Iのア～エのうちのどれか、また、その都市を含む国の、2017年における米、小麦、とうもろこし、ジャガイモの生産量に当てはまるのは、IIの表のア～エのうちのどれか。



	米 (万 t)	小麦 (万 t)	とうもろこし (万 t)	ジャガイモ (万 t)
ア	8138	—	2795	116
イ	133	1840	4948	245
ウ	—	2998	1410	441
エ	—	2448	455	1172

(注) — は、生産量が不明であることを示す。(「データブック オブ・ザ・ワールド」2020年版などより作成)

(中2・中3内容: 世界史)

6 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

世界各国では、株式会社や国営企業などが、**利潤**を追求するなどの目的で誕生してきた。人口が集中し、物資が集積する交通の要衝に設立された企業や、地域の自然環境や地下資源を生かしながら発展してきた企業など、**企業**は立地条件に合わせ多様な発展を見せてきた。**我が国の企業は、世界経済の中で、高度な技術を生み出して競争力を高め、我が国の経済成長を支えてきた。**今後は、国際社会において、地球規模で社会的責任を果たしていくことが、一層求められている。

〔問1〕 **利潤**を追求するなどの目的で誕生してきた。とあるが、次のア～エは、それぞれの時代に設立された企業について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。  
 ア 綿織物を大量に生産するために産業革命が起こったイギリスでは、動力となる機械の改良が進み、世界最初の蒸気機関製造会社が設立された。  
 イ 南部と北部の対立が深まるアメリカ合衆国では、南北戦争が起こり、西部開拓を進めるために大陸を横断する鉄道路線を敷設する会社が設立された。  
 ウ 第一次世界大戦の休戦条約が結ばれ、ベルサイユ条約が締結されるまでのドイツでは、旅客輸送機の製造と販売を行う会社が新たに設立された。  
 エ スペインの支配に対する反乱が起こり、ヨーロッパの貿易で経済力を高めたオランダでは、アジアへの進出を目的とした東インド会社が設立された。

2 は中学校の定期テストでも定番の内容。中3になっても忘れずにしっかり覚えていてくれたら、確実に正解できる問題だ。雨温図で悩むが「ヨーロッパは高緯度のわりに温暖」「ジャガイモ料理が有名な国は」といったことを覚えていれば判断できる。

6 は世界史だが、中学校では日本史を軸に世界の歴史を学ぶ。世界で起きたことが当時の日本ではどの時代・どの年代の頃なのかを覚えていれば時代順も確実になる。

いずれも定期テストのときにだけ暗記するような勉強では太刀打ちできない。一度覚えたなら忘れないように努力を重ねよう!